

9 月 12 日：利益確定売りが強まり、株式市場はまちまちな展開

週明けのベトナム市場は、VN 指数が上昇する一方で HNX 指数は下落するなど、まちまちな動きとなった。利益確定売りは投資家心理の重荷となった。

ホーチミン市場の VN 指数は 0.07% (0.84 ポイント) 高の 1,249.62 ポイントで取引を終えた。午後には売り圧力が強まり、上げ幅を縮小した。

買いが優勢で、値上がり銘柄数が値下がり銘柄数を上回った。

その一方で出来高は前日と比べて減少した。本日の売買高は約 4 億 1020 万株、売買代金は約 10 兆 7500 億ドン (4 億 5700 万米ドル) だった。

VN30 指数は 0.04% 安の 1,275.6 ポイントと下落した。騰落別では 11 銘柄が上昇、17 銘柄が下落、2 銘柄は変わらずだった。

ハノイ市場の HNX 指数は 0.54% (1.55 ポイント) 安の 283.08 ポイントで取引を終えた。

売買高はおよそ 5,900 万株で、売買代金は 1 兆 4,000 億ドンを超えた。

ビンホームズ (VHM) はマーケットの上昇をけん引し、2.5% 高と大きく上昇した。モバイルワールドインベストメント (MWG)、ビンコムリテール (VRE)、ベトコムバンク (VCB)、ヴィエティンバンク (CTG)、ドゥックザンケミカル (DCG)、デジタルワールド (DGW) もそれぞれ上昇した。

ペトロベトナムドリリング (PVD) といった石油関連銘柄もマーケットの上昇に寄与した。

しかし多くの大型株に投資家の売りが向かったため、マーケット全体の上昇は限定的だった。

主な値下がり銘柄を確認すると、マサングループ (MSN) は値下がり寄与度でトップとなった。他にもノバランド不動産投資 (NVL)、ビンググループ (VIC)、ベトナムゴム工業グループ (GVR)、ビナミルク (VNM) が含まれた。

本日から端株取引が正式に始まり、投資家たちに歓迎された。特に少額で信用取引をする初心者の個人投資家に歓迎されていると専門家は話す。この新しい仕組みの導入により、投資家は 1～99 株の少数株の注文を出すことができる。

外国人投資家はホーチミン、ハノイ両市場で買い越した。買い越し額はホーチミン市場で 1,773 億 6,000 万ドン、ハノイ市場で 113 億ドンとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。